

科目名	国際関係論（政治学を含む）	科目コード	1173	単位数	2
担当者名	坂口 可奈	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	到達目標	B,F	実務経験	無
ナンバリング	DPo301	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

現代世界に生きる個人は、国際社会の動きとは無縁ではられない。この国際情勢が激しく動いている今、われわれは複雑な国際情勢を理解し分析するための基礎知識を身に着けることが求められている。教員志望の学生諸君であれば、なおさらであろう。そこで、本講義では事例の分析を通して国際関係論の基礎を学んでいく。本講義は教員による講義だけでなく、受講生によるグループワークとプレゼンテーションを積極的に取り入れることで、他者と協力しつつ主体的に学ぶ姿勢を養う。同時に、自分のテーマを他の受講生にわかりやすく伝える力も伸ばしていく。学生諸君には真剣に授業に取り組んでもらいたい。

● 到達目標

- ・ 国際関係についての基礎を理解できるようになる
- ・ より広い視野のもとで国際関係を分析できるようになる
- ・ 自分の意見を他人にわかりやすく伝えられるようになる

● 授業内容

- 1週目 イントロダクション
- 2週目 国際関係論の基礎
- 3週目 国際関係論の諸理論
- 4週目 時事問題（国際政治）
- 5週目 自由
- 6週目 民主主義
- 7週目 人権
- 8週目 ヒトの移動
- 9週目 ジェンダーと政治
- 10週目 紛争と内戦
- 11週目 北海道と世界の関わり
- 12週目 スポーツと国際関係
- 13週目 感染症と政治
- 14週目 米中対立
- 15週目 時事問題（日本政治）
- 16週目 今後の学習について（ただしやむを得ず 1 5 週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講を行う）

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習： 1、毎日国際ニュースにふれること
- 2、事前に指定する課題に取り組むこと（1と2を合わせて2時間程度）
- 復習：各自授業内容をノートにまとめること（1時間程度）

● 成績評価の方法・基準

- 期末レポート40%
- リアクションペーパー20%
- プレゼンテーション40%

● 履修上の留意点

- 1、許可した場合を除いて、授業中にスマートフォン等は使用しないこと
- 2、出席登録後は授業終了まで退出は認めない
- 3、本講義はプレゼンテーション、グループ・ディスカッションやグループ・ワークを積極的に採用する。受講生は、授業計画5週目以降に示したテーマから2つを選び、そのテーマについてのプレゼンテーションを行うこととなる。
- 4、6,7講目の間の休憩はもうけない

● 課題に対するフィードバックの方法

毎週の授業冒頭に、前週に課した課題に対してのフィードバックを口頭で行う
レポートに対してのフィードバックは最終授業の際に行う

● テキスト

特になし。レジュメを配布する。

● 参考書

- 中西 寛、石田 淳、田所 昌幸『国際政治学—International Politics :Theories and Perspectives』（有斐閣）3200円
- その他、適宜授業内で紹介する

● 更新日付

2025/02/20 08:38